

去る7月22日。東京都は墨田区にある本所防災館へ、災害体験学習に行ってきました。
いつ起こるか分からない自然災害や火災などのトラブルに見舞われた際、どのように対処をすればよいのか。防災館での災害体験を経験した、メンバーの皆さんの声をどうぞ。

1. 防災館体験見学の感想

<Y.Nさん(就労継続支援B型)>

今回、我々は都内にある防災体験施設「本所防災館」に行ってきました。ここでは、1時間40分のコースで、地震、煙、暴風雨の体験をすることが出来ました。体験を始める前に3.11のドキュメント映像を見たのですが、我々は子供向けのソフトなバージョンでしたが、それでも十分に災害の恐ろしさが伝わってくる内容でした。まず、震度7。これは阪神淡路大震災の時と同じ震度なのですが、これが凄まじかった。揺れがとてつもなく、立っていることも厳しいほどでした。我々は体験ですので、これから起こることが分かっていますが、何の予告もなく、これほどの揺れに襲われれば冷静な行動を取るのには難しいなと感じました。煙体験では、姿勢を低くして、非常口マークを頼りに脱出口を目指すのですが、外に出られた時には本当にホッとした気分になりました。普段は防災の事を考えることはほとんどないのですが、大規模な地震が起こる可能性は高いので、普段から防災意識を持ち、実際に起きた時に冷静に対処したいと感じました。

<K.Fさん(就労継続支援B型)>

7月22日の本所防災館での防災体験では主に四つの体験をしました。その中でも特に印象に残った、地震の体験について書きたいと思います。

まず、防災体験では20分くらいの地震についてのアニメを観ました。日本では過去三回大きな地震があり、今度同じ規模の首都直下型地震が起こったら東京は大変なことになりそうだと思います。

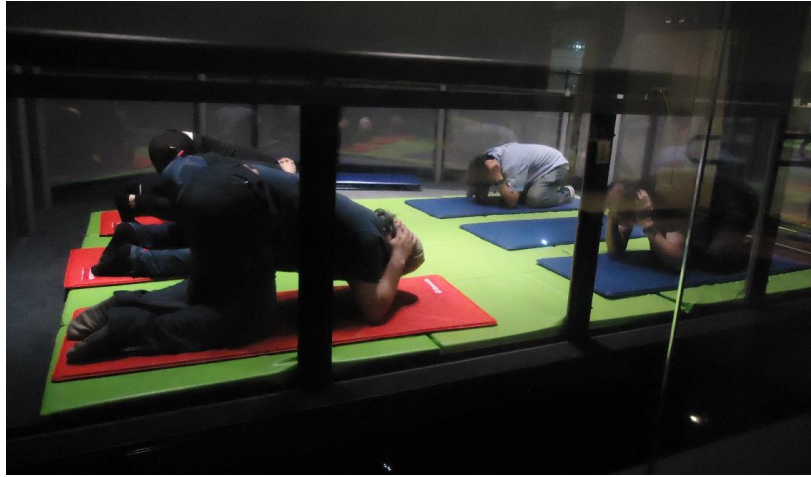
次に実際に震度7の地震を体験しました。これがすごい揺れで、立っているなど到底無理なところかダンゴムシの姿勢をとっていても吹き飛ばされそうになったほどでした。あんな地震が起きたらパニックになり何もできないかもしれません。そうならないためにも備えしておく必要があるんだろうなと思いました。



<M.Iさん(就労継続支援B型)>

震度7の、地震体験をしてみて、あんな揺れが本当に来たら、木造の建物なんかひとたまりもなく崩れ落ちると思いました。

煙の体験は臭いもしなかったし普通に歩けたので、あまり実感がわきませんでした
暴風雨体験はびしょびしょに濡れそうだったのでやめました
水圧の体験ではみんなが水圧10Kgのところ、私は水圧20Kgの力のかかっている扉を開けようと挑戦しましたが、なかなか開かなかったのにびっくりしました。
防災館に行ってみて、非常食や水など用意しておかないといけないなと思いました。



<H.Yさん(就労継続支援B型)>

東京都消防庁、本所防災館での体験は私の想像を超えるものでした。まず館内の広さに驚かされると共に、様々なシュミレーターでの体験は、これまでの防災に対する考えを変えさせるものでした。30メートル程度の風なんてどうってことないと思っていましたが、雨が加わると立ち尽くすしかありませんでした。また震度7の地震体験で震度5強の地震なら体験した事があるので、1.5倍位ならたかがしれてるとたかをくくっていましたが、いざその時になると掴まっていることしかできず、私の防災に対するこれまでの認識は、何の役にも立たないことが証明されてしまいました。

その後、防災マップ等を拝見させていただいて、食料の確保や水の確保等を改めて見直すきっかけになりました。

焦ってパニックになるタイプなんで冷静な行動を心構えていきたいと思います。

<Y.Sさん(就労継続支援B型)>



最初、本所防災館に行くことは面倒臭くて休もうかと躊躇っていましたが、スタッフの方々も赴くという事なので渋々参加しました。ところが、いざ暴風雨や地震のシュミレーターを体験したところ、私自身の防災に対する考え方が全く間違っていたことに気付かされました。風速30メートル程度の雨風では歩くことは出来そうでも、しだいに雨水が溜まっていくことが容易に感じ取ることが出来て、避難の必要性を感じました。震度7の地震体験でも、その揺れたるや私の想像を超えたもので、物に捕まって立っていることさえやっとの思いで、私の住んでいる古いアパートなんてすぐに倒壊してしまうことに恐怖しました。防災グッズを置くスペースなんてありませんが、せめてお風呂の水は常に溜めて置く必要があると思知らされました。

貴重な体験でした。

<N.Sさん(就労継続支援B型)>

初めて防災館の体験をしてみて、新たな発見と災害体験から得た経験は勉強になりました。あたり前の現実の中で生活している私にとっては、突然の体験、特に地震の体験は想像以上にリアルな揺れと、立てないほどの揺れにはびっくりしました。火災の煙の体験も、あわてずに行動すれば避難出来ると感じました。今回の防災体験をして、これからの生活では突然の災害に備えて冷静にあわてず対応する事、日頃ごろから防災に対して予備知識と準備をしておく事、落ち着いて行動する事が大切なんだなあと、しみじみと実感しました。年々増えてくる印象のある自然災害だけに、今回は良い勉強になりました。



<Y.Aさん(生活訓練)>

防災館で一番、印象が強かったのは震度7の体験コーナーだった。すわったまま震度7がやって来る体験をしたが、すわった姿勢が保てず、凄い揺れだった。教わったダンゴムシの姿勢になったが、身体全体が揺れでズレていく感じがした。もし、道や電車の中で震度7の揺れが来たら、とても立ってられないだろう。

その他にも、浸水した時の扉の重さや、集中豪雨の体験など、とても参考になった。

防災館では安全に気を使った状態で災害を体験できたが、実際の生活の中で災害にあった時を想像すると、かなり不安になった。今後、いつどこで災害に遭うか分からない。時々でもよいので、防災の事を意識するのも必要だと感じた。

<M.Nさん(就労継続支援B型)>

7月22日、本所防災館にて防災体験をしてきました。四つの防災体験で、水害・地震・暴風雨・煙の体験をしました。

自分の中では、どれも大切ですが、特に気になるのはやはり地震かなと感じてしまいます。

今一番地震が怖いです。今年元旦に能登地震があり衝撃でしたが、首都直下型地震もいつあってもおかしくない状況です。

また、家庭用電源を発端とする火事も怖いし、日常でも生活空間をきれいにしておく事の大切さを教わりました。年々と地球温暖化が進む今の世の中ですが、常日頃から意識をもって、災害に対する準備は大切だなと感じると同時に、安全に生活を送れるといいなと思いました。人間は忘れる動物です。ふと忘れたときに大きな災害があったとして、その時にはどう対応できるのか。扶助・公助・自助の三つを大切に心にとどめておきたいです。よい経験でした。ありがとうございました。

<Y.Iさん(就労継続支援B型)>

私は、実の所本格的な防災訓練という体験をしたことが今まで一度もなかったのですが、この「本所防災館」という所は実に充実しており、色々と防災について体験させていただきました。初めてです。

地震で震度7の揺れの凄まじさには、ただただ恐怖でしかありませんでした。あの揺れがいきなり来たら立ってられません。

台風で大雨が降ってきた時に地下にいたとして、たった10cmの水が流れ込んで来た時の出入口のドアの重さといったらなかったですね。あまりの重さにびっくりさせられましたね。あの体験を踏まえて、もし今後このような状況にあった時は、この訓練体験を基に慎重に行動したいと思いません。

2. メンバー状況(令和6年8月現在)

・生活訓練 2人 ・就労継続支援B型 10人

<男女構成>

・男性 11人 ・女性 1人

<年代>

・20代0人 ・30代1人 ・40代1人 ・50代8人 ・60代以上2人

<アディクション>

・アルコール 8人 ・薬物 3人 ・ギャンブル 4人 (重複あり)

・就労した者 3人(令和4年10月より)

3. 編集後記

いつまで、この猛暑は続くのでしょうか？百日紅の花の色が薄れてきて、まるで水がほしいと喘いでいるようです。この暑い中、本所防災館に行ってきました。プログラムの中で避難訓練や、災害に対する学習会をするのですが、災害に対するイメージがまるで他人事のように感じました。しかし、実際に震度7の地震の激しさ、たかだか10cmの水圧の重さ、そして1時間50^{mm}の豪雨と30メートルの暴風の中では、体を動かそうにも動かせない恐怖を体験してきました。この体験を通して、災害を自分事として捉え、自分でできることは自分で準備しておく必要性を感じたようです。先日も「南海トラフ地震臨時情報」が出されていました。日頃の備えが、自分の命を守る行動につながります。無料で体験できますので、是非、皆様も行って見てください。

4. 会員募集のお知らせ

特定非営利活動法人STORYの趣旨にご賛同、ご支援頂ける会員の方を募集しています。

①正会員 : 当法人の目的に賛同して入会される方および団体

入会金 5,000円

年会費 3,000円

②賛助会員 : 当法人の事業を賛助するために入会される方および団体

入会金 3,000円

年会費 1,000円

郵便振替口座

口座番号 00100-3-591769

口座名義 特定非営利活動法人STORY

